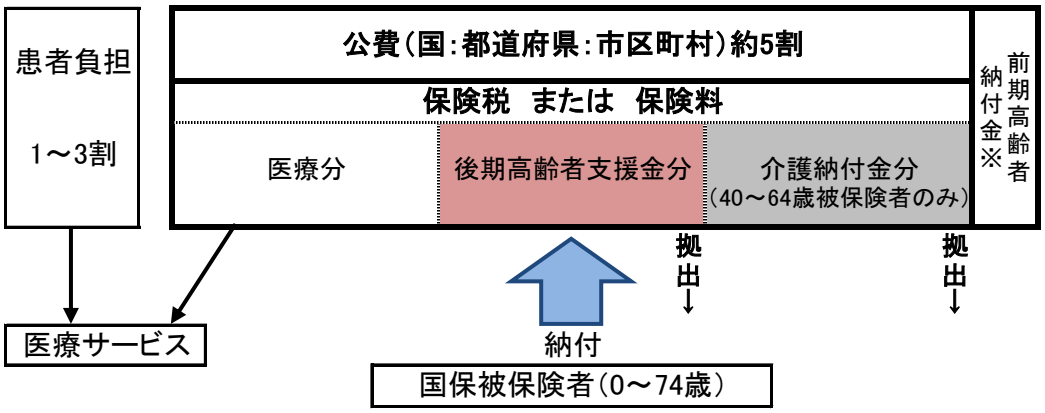
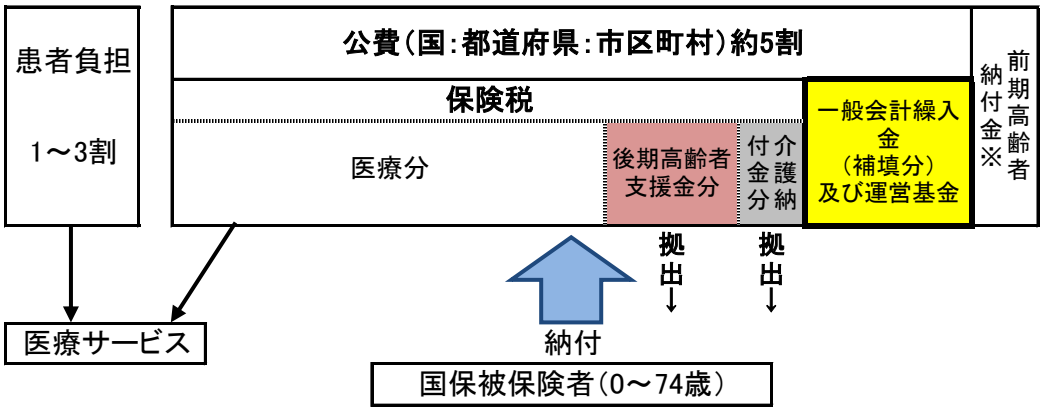
昭島市国保の財政運営

◆国民健康保険制度の財政運営のイメージ◆



※前期高齢者（65～74歳）の約8割が市町村国保に加入している現状から、その医療給付負担を平準化するため被用者保険などを含む、医療保険制度全体で財政調整を行っているなかから交付を受けるもの

◆昭島市国保の財政運営◆



課題

◇収支の均衡を保つため、常に一般会計より法定以外に繰入を行っている、現状の保険税率では、賦課不足状態であり、他制度に拠出する目的の後期高齢者支援金分・介護納付金についても補填が必要
◇市町村国保では、都市部を中心に補填目的の一般会計繰入が多く行われているが、近年全国的に、赤字赤字補填を目的とする繰入金の解消を強く求められている
◇医療費適正化と被保険者の健康増進を目指し、保健事業を実施しているが、特に医療費適正化については、目に見える形での成果につなげることは難しい